



ドリーム昭和での献血活動報告

保健福祉委員長 L.関 茂正



たくさんの親子連れに献血を呼びかける

平成26年10月26日(日)に保健福祉委員会担当の献血アクティビティとYCE・青少年指導・レオ委員会担当の薬物乱用防止運動を「ドリームモータースクール昭和」にて行いました。

打合せの後、さっそくポケットティッシュや献血案内を配りながら、協力や理解を呼びかけました。当日は大変すばらしい献血日和になり、午前中から大勢の親子が訪れ、イベントと共に楽しみ、又献血にも参加していただきました。ティッシュ・案内は1000セット程配りました。

結果:受付者40名・献血者33名・献血量12,800ml(400ml×31名・200ml×2名)でした。年間目標100,000mlより48,000ml多くの累計献血ができました。献血をいただいた皆さん、そしてアクティビティに参加の皆さん、本当にありがとうございました。

今年度の計画ではあと4回活動がありますが、ご協力をよろしくお願ひいたします。



只今会場準備中



女性スタッフと共に…



人気の車両に人だかり

入会式



入会日:平成27年2月25日

L.今井 剛

ゲストスピーチ

2014年
11月12日

KBC
(川中島中学校男子
バスケットボールチーム)
コーチ よしたか
和田 良尊様



2015年
2月12日



公益法人
長野県アイバンク・
臓器移植推進協会
常務理事兼事務局長
平野 実保様

長野グリーンシティLC チャーターナイト認証状伝達式

PR委員長 L.高島 陽子

2014年10月10日、334-E地区2R・1Zに、同6月に発足した「長野グリーンシティライオンズクラブ」（吉村征之会長、チャーターナイトメンバー42人）の「チャーターナイト認証状伝達式」が、ホテル国際21で開かれました。

出席者は400人で、笠原地区ガバナーご臨席のもと、宮下元地区ガバナーからLC役員のリレーを経て、吉村会長に認証状が手渡されると、会場全員が起立して拍手。

スポンサークラブは長野LCで、県内では19年ぶりの新クラブ結成となり、儀式に立ち合るのは多くのメンバーにとっても新鮮な体験となりました。引き続き行われた華やかな門出の宴で盛大に祝福しました。



挨拶する吉村会長

チャリティーゴルフ大会開催報告

事業福祉委員長 L.古木 惣一郎

平成27年10月16日に『チャリティーゴルフ大会』が開催されました。当日は204人という多くの方が参加され、目標であった50万円の事業資金が集まりました。参加者を集めさせていただいた方々、協賛品や協賛金をご提供された方々、当日運営にお力添えいただいた方々に、改めて敬意を表させていただきます。

さて、今回は、「チャリティー活動の啓蒙」と「参加者への感謝とおもてなし」をテーマにしました。具体的には、①チャリティー活動のプレゼンボードの新調、②優勝は電動アシスト自転車、参加賞は飯綱町の野菜詰め合わせなど賞品の充実化、③お迎え時や賞品手渡し時などの体制見直しなどです。

これからも重要な事業と位置付け、皆さんにより楽しんでいただけるよう活動していくたいと思います。ご協力ありがとうございました。



優勝した目須田さんと野村会長

今年もみんなで愉快に盛り上りました【家族合同クリスマスパーティー】

恒例の家族合同クリスマスパーティーが、元地区ガバナー L.仁科良幸、長野みすずライオンズクラブ会長 L.遠藤紀夫、幹事 L.上原英二、会計 L.北川哲男、2R献血・骨髓移植委員 L.中澤和明をお迎えして12月17日に開催されました。

アトラクションは、飯山学園・更級福祉園・敬愛学園の代表の皆さんが「アナと雪の女王」をダンス披露してくれました。全員参加のbingoゲームも大変盛り上がり、LPとレオの皆さんにも楽しい時間を過ごしていただきました。



遠藤会長からご挨拶



景品どれにしようかな～



ダンスを披露する学園の子ども達



野村サンタからレオにプレゼント



盛り上ったbingoゲーム

第40回

日本・フィリピン合同医療奉仕活動に参加して



眼科医師として参加し、診療するL.池田芳良

歯科チーム 池田 憲吾様

私にとってフィリピンでの医療奉仕活動は衝撃的なものでした。今回、私は歯科の奉仕活動に初めて参加しました。日本での歯科治療は清潔な診療室で、専用のユニット(治療用の椅子)で、専門の器材が揃った状態で行うのが当たり前です。しかし、フィリピンでの歯科治療は私が今まで学んできたものとは全く異なるものでした。

現地の小学校の教室で、教室に置いてあった椅子を使い、治療用の器具も限られたものしかありません。そのような環境では日本で行われているような完璧な治療はできません。それでも歯科治療を必要としている患者さんは多く、私が参加した歯科班では毎日約350人もの人を治療することができました。労働環境は過酷なのですが、自分が学んできたことを生かし、人の役に立っているという充足感を直に感じることができました。日本ではできない貴重な体験をすることができてとても良かったと思っています。

私はライオンズクラブに所属していないため、ほとんどの方と初めてお会いしました。はじめは緊張もありましたが、気さくな方が多く純粋に楽しい時間を過ごすことができました。機会があればまた参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

内科チーム L.三戸部 恵一

第40回日本・フィリピン合同医療奉仕活動は、2月7日8日両日に2時間以内の移動時間のマニラ近郊にて開催されました。私は内科チーム(B)に薬剤師として参加し、医師はL.田中信臣、L.中川福男他現地医師4~5名により診断・投薬処方されました。またこのチームには、長野みすずLC8名、松本LC1名、長野LC6名、長野グリーンシティー LC1名、長野白樺LC2名、戸倉上山田LC4名、総勢22名のライオンがスタッフとして活動しました。

今回の奉仕活動対象者は、老若男女問わずの対象でしたが、サンダルも履かない人、15~16歳位の母親も多く、1歳未満児や障害者も含まれていたのがとても印象に残っています。日本と異なり1歳未満児・未熟児及び障害児など服用が困難な場合、シロップ剤をスポットで服用させるドロップ剤を処方するように現地医師より要望され、実施されました。今回は生活習慣病等の慢性病についての薬剤は用意しておらず、主に急性期等の病状が対象に処方されました。この度の医療奉仕は、内科チーム(A)&(B)で総合計5592名に実施され、充分に初期の目標は達成できたものと信じます。



眼科チーム L. 加々井 聰

平成26年2月7日(土)~8日(日)の2日間、第40回日本・フィリピン合同医療奉仕活動に行って参りました。

私は、B班眼科チームに所属し、L.池田芳良、L.中澤和明、L.浜一平、L.宮下芳一、L.岡宮清吉、L.赤羽豊喜、L.高瀬直樹、L.堀込哲也、L.山崎和宏、L.足立敏彦、L.田中俊彦、L.鈴木建夫、L.土屋富夫、通訳T.MARICRISの計15名でした。

1日目はサンマテオ・リサールという地域の小学校で行いました。朝から長蛇の列で、池田芳良医師を筆頭に現地から3名のメガネ屋さんと計4名で診察しました。

私は、目薬の係りをしましたが袋詰めが間に合わなくなったり、眼科部門のカルテが足りなくなったりとハプニングは色々ありましたが、目標の1,000名を大きく上回る1,114名の患者さんを診察することができました。



2日目はカムニングという地域の小学校で行いました。初日とは違い、医師はL.池田芳良だけだったにも関わらず、診察者数は841名。2日間で計1,955名の患者さんを診察することができました。グローバルな奉仕活動に参加する事ができ、自分にとっても大きな経験になりました。

新年合同例会 1月13日

第2リジョンメンバーが一堂に会し、盛大に開催されました。



コミュニケーションボウリング大会に参加して

参加者代表 L江本 日東

2月21日ヤングファラオにて、3ゾーンコミュニケーションボウリング大会が、45名の参加の下、盛大に開催されました。各クラブの腕自慢が、楽しい2ゲームトータルの個人戦と、上位5名による団体戦が、和やかな雰囲気の中で繰り広げられました。当クラブからは、L.飯島昭三、L.桑原宣彦、L.中澤和明、L.野村文孝、L.宮下芳一、L.江本日東が参加しましたが、日頃よりボウリングの腕前には定評がある長野白樺ライオンズクラブは、周囲の期待通り(1)見事団体優勝に輝きました。

私自身も、ボウリングは得意ではありませんが、当日は運良く4連続ストライクを含む好成績を上げ、3位に入賞することができました。

次回以降にクラブに貢献できるようにと、決意を新たにした楽しい一日になりました。



決勝戦を応援して 第三副会長 L.竹内 良美

長野白樺ライオンズクラブ後援のウォリアーズカップ決勝戦が11月1日・2日の両日『bjリーグ公式戦 信州ブレイブウォリアーズ上田大会』でのエキシビションゲームとして行われました。

青少年達がバスケットボールを通して、健全に大きく成長して欲しいとの願いから、後援を始めて今年で3回目となる大会です。試合は、手に汗握る白熱した展開となり、もの凄い盛り上がりでした。

優勝チームは男子が「KBC(川中島中)」女子は「安曇野レッドサンダース」という結果でしたが、どのチームが勝ってもおかしくない好プレーの連続でした。なお、12月26日に静岡市で行われたbjリーグジュニアユースカップにおいて『KBC』は準優勝と大健闘しました。お疲れ様でした。

観劇会報告

LP委員長 L.小林 克己

11月6日、LPの会の観劇旅行は22人が参加しました。朝9時JR長野駅に駆けつけた野村会長に見送られ、新幹線あさまで元気に出発。

目的地の日比谷シアタークリエの前に、ルミネ有楽町「豆ちゃん」でおばんざい箱御膳をいただき、いざ観劇会場へ。

大地真央主演の舞台は『夫が多すぎて』。文豪サマセット・モーム原作のドタバタ喜劇で、一行は笑いの連続でした。石田純一、中村梅雀と役者ぞろい、奇妙な三角関係や男女の生きざまが痛快で、休憩をはさんで2時間半余りの上演を存分に楽しめました。

観劇後は、小雨の有楽町で夕べのひととき。「有楽町ワイン俱楽部」では和やかな歓談と会食で懇親を深め、その後JRタワー「KITTE GRNCHE」での買い物や自由行動で、日帰り小旅行を締めくくりました。



～～～どうぞ安らかにお眠りください ～～～

熱心にして元気に奉仕活動をされていたL.山本勝男が、1月20日に急逝されました。あまりに急なことで本当に残念です。社葬として「偲ぶ会」が2月26日、ホテル国際21でしめやかに行われ、当クラブからも大勢の会員が弔問に訪れお別れをしました。

故L.山本 勝男を偲ぶ L.竹内 良美

山本さんは、仁科キャビネット(2008年)の年、65歳(クラブで最も高齢入会)で我が長野白樺ライオンズクラブに入会いただきました。

山本さんは「ライオンズクラブにお世話になんでも崇高なライオンズ活動はできない、できることから少しづつ、続けてゆきたい」と仰って、先ずは例会出席に重点を置いて、多忙でも例会を優先し6年連続皆勤を達成されました。

またゴルフが趣味でクラブコンペにも良く参加して活躍されました。山本さんのゴルフは、豪快でしたがソータッチプレーで、パッティングも完全ホールアウトを心がけたフェアーナゴルフでした。

そんな、山本さんが、昨年の暮れからの風邪をこじらせ、1月の始め市民病院へ入院、縣命の投薬治療の甲斐もなく不帰の人となってしまいました。誠に残念で淋しい限りです。

人生の先輩として数々の教えを乞うたり、お世話をいただき有難うございました。心より御冥福をお祈りいたします。



献血活動で参加を呼びかけるL.山本(右端)